

## 製品安全データシート (SDS)

作成日 2021/03/16

## 1：化学品及び会社情報

1-1	製品名	コンポーシール	英名	Composil
	製品番号	404xx		
	用途	シリケートシーリング		
1-2	製造業者／供給者情報			
	製造元／供給元	AKEMI chemisch technische Spezialfabrik GmbH		
	製造元住所	Lechstrasse D 90451 Nurnberg deuchland		
	TEL	+44(171)635-9191	+49(0)911-64296-59	
	製造担当部門	AKEMI Laboratory		
1-3	提供者情報			
	輸入元／総販売元	藤栄株式会社		
	住所	〒 587 0944 大阪府東大阪市若江西新町 4-5-25		
	担当部署	貿易 部		
	T E L	06-6725-5236		
	F A X	06-6725-3366		

## 2：危険有害性の要約

- 2-1 物質/混合物の分類
- ・ 製品はCLP規制に分類されない。
- 2-2 GHSラベル要素
- ・ 危険標識 無効
  - ・ 注意喚起語 無効
  - ・ 注意書き 無効

## 2-3 追加情報

N- (3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミンを含む。  
アレルギー反応を起こすことがある。

## 3：組成および成分情報

- 3-1 化学的特性：混合物
- ・ 説明：無害な添加物とともに以下に列挙する物質の混合物。

エチル-トリス(アセトン)-シラス (Ethyl-tris(acetonoximo)-silan)	含有量	1 ~ 5%
CAS : 58190-57-1	STOT RE 2	H373
EC番号 : 611-631-1		
登録番号 : 01-2119982962-22-0000		

N-(3-(トリメチルシリル基)プロピル)エチレンジアミン (N-(3-(trimethoxysilyl)propyl)ethylenediamine)	含有量	<1 %
CAS : 1760-24-3	STOT RE 2	H373
EINECS : 217-164-6	Eye Dam.1	H318
登録番号 : 01-2119970215-39	Acute Tox 4	H332
	Skin Sens.1	H317
	vPvB	

- 追加情報：記載された危険指示はセクション16を参照のこと。

#### 4：応急処置

##### 4-1 応急処置の説明

- 一般的な初期手当
  - 具合が悪くなった人を新鮮な空気の中へ連れて行く。
  - 横向きで安定させて搬送する。
- 飲み込んだ場合
  - 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。
  - 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合
  - 皮膚の刺激が続く場合は、医師に連絡すること。
  - 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
  - 多量の水と石鹸で洗うこと。
- 眼に入った場合
  - 直ちに医師に連絡すること。
  - 流水で数分間注意深く洗浄すること。
  - コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は、外すし洗浄をすること。
  - 洗浄後、医師の診断を仰ぐこと。
- 飲み込んだ場合
  - 直ちに医師に連絡すること。

#### 5：火災時の措置

##### 5-1 消火剤

- 適切な消火剤
  - 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガスを使用する。
  - 粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂
- 不適当な消火剤
  - フルジェット水

##### 5-2 物質または混合物に起因する特別な危険性

- 加熱中または火災の際、有毒ガスが発生するおそれがある。
- 以下のものが放出される。
  - 一酸化炭素 (CO)
  - 窒素酸化物 (NOx)

### 5-3 消防士へのアドバイス

消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。  
 爆発ガス、燃焼ガスを吸い込まないようにする。  
 規定に従って火災の残骸と汚染された消化水を処分する。  
 消火水は別で回収し、下水道に入り込まないようにする。

## 6：漏出時の措置

### 6-1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

関係者以外は近づけない。  
 漏洩場所を換気する。  
 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
 発火源から遠ざけること。  
 作業者は適切な保護具（「8.暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、  
 眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

### 6-2 環境に関する注意事項：

環境中に放出してはならない。  
 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。  
 水路または下水道に浸透した場合は、関係局に通知する。

### 6-3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。  
 少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆っていて密着できる  
 空容器に回収する。  
 大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

### 6-4 二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。  
 床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

## 7：取り扱いおよび保管上の注意

### 7-1 取扱い

- ・ 技術的対策  
換気の良い場所で作業する。
- ・ 衛生対策  
取扱い後はよく手を洗うこと。

### 7-2 保管

- ・ 安全な保管条件  
日光から遮断すること。  
容器を密閉して保管すること。

## 8：曝露防止及び保護措置

### 8-1 設備対策

- ・ 作業場で監視が必要な制限値のある成分は含まれない。

58190-57-1 エチル-トリス(アセトン)-シラス		
口腔	DNEL(長期)	0.03mg / kg 体重 / 日 ( BEV )
皮膚	DNEL(長期)	0.059mg / kg 体重 / 日 ( ARB )
吸入	DNEL(長期)	0.03mg / kg 体重 / 日 ( BEV )
		0.419mg / m <sup>3</sup> / 空気 ( ARB )
		0.103mg / m <sup>3</sup> 空気 ( BEV )
1760-24-3 N-(3-(トリメチルシリル基)プロピル)エチレンジアミン		
口腔	DNEL(長期)	2.5mg / kg 体重 / 日 ( BEV )
皮膚	DNEL(短期)	5mg / kg 体重 / 日 ( ARB )
吸入	DNEL(長期)	17mg / kg 体重 / 日 ( BEV )
		5mg / kg 体重 / 日 ( ARB )
		2.5mg / kg 体重 / 日 ( BEV )
		35.5mg / m <sup>3</sup> 大気 ( ARB )
		8.7mg / m <sup>3</sup> 大気 ( BEV )
58190-57-1 エチル-トリス(アセトン)-シラス		
PNEC(水性)		2.4mg / l (KA)
		0.24mg / l (SW)
PNEC(固形)		205mg / kg 乾燥(MWS)
		2,047mg / kg 乾燥(SWS)
1760-24-3 N-(3-(トリメチルシリル基)プロピル)エチレンジアミン		
PNEC(水性)		25mg / l (KA)
		0.0062mg / l (MW)
		0.062mg / l (SW)
		0.62mg / l (WAS)
PNEC(固形)		0.0075mg / kg 乾燥(BO)
		0.005mg / kg 乾燥(MWS)
		0.05mg / kg 乾燥(SWS)

## 8-2 保護具

- ・ 呼吸器の保護具  
必要な個人用保護機器を使用すること。
- ・ 手の保護具  
保護手袋を着用すること。
- ・ 眼の保護具  
眼の保護具を着用すること。
- ・ 皮膚及び身体の保護具  
長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。
- ・ 衛生対策  
取扱い後は汚染箇所をよく洗う。  
使用の際は、飲食/喫煙をしてはならない。

## 9：物質的及び化学的性質

## 9-1 基本的な物理化学的特性についての情報

## ・ 一般情報

・ 外観 形：ペースト状  
色：色展開あり

・ 臭い 特徴的

・ 20°CでのpH-値 7

・ 条件の変更 融点／凝固点：未定  
沸点／沸点範囲：未定

・ 引火点 適応なし

・ 点火温度 ~430°C

・ 自動点火 製品は自動点火しない。

・ 爆発性 製品は爆発の危険はない。

・ 蒸気圧 未定

・ 密度 未定

・ 水への溶解性 水との混和性 混和性がなく、混和しにくい。

・ 粘度 粘度性：未定  
20°Cでの動粘度性：0s (DIN 53211/4)

9-2 その他の情報 関連情報はない。

## 10：安定性及び反応性

## 10-1 反応性

可燃性はあるが、通常の保管・取扱い条件において安定と考える。

## 10-2 化学的安定性

通常の条件下では安定である。

## 10-3 避けるべき条件

強い酸化剤と反応する。

## 10-4 危険有害な分解生成物

関連情報はない。

## 10-5 混触危険物質

関連情報はない。

## 10-6 危険有害成分分解生成物

少量のホルムアルデヒドが形成される可能性がある。

## 11：有害性情報

## 11-1 毒性に関する情報

- ・ 急性毒性：これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
- ・ 分類に関連する LD / LC50 値：

58190-57-1 エチルトリス(アセトン)-シラス

経口	LD50	2,500mg / kg (ラット)
	NOAEC	11.87mg / kg (ラット)
経皮	LD50	2,500mg / kg (ラット)

## 1760-24-3 N-(3-(トリメチルシリル基)プロピル)エチレンジアミン

経口	LD50	2,295mg / kg (ラット)
	NOEL	≥500mg / kg (ラット)(OECD 422)
	NOAEL	≥500mg / kg (ラット)
経皮	LD50	>2,000mg / kg (ラット)
吸入	LC50 / 4h	1.49mg / l (ラット)

- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- CMR 効果 (発がん性、変異原性および生殖毒性)
- 生殖細胞変異原性  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 発がん性  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 生殖毒性  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。
- 吸引性呼吸器有害性  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。

## 12：生態学的情報

## 12-1 毒性

- 水生生物毒性：

## 58190-57-1 エチル-トリス(アセトン)-シラス

EC50 / 48h	678.73mg / l (ミジンコ)(OECD-Prüfrichtlinie 202)
NOEC	62.34mg / kg (ムレミカヅキモ)(OECD-Prüfrichtlinie 201)
EC50 / 72h	315.36mg / l (ムレミカヅキモ)(OECD-Prüfrichtlinie 201)
LC50 / 96h	696.76mg / l (ファットヘッドミノー)(OECD-Prüfrichtlinie 203)

## 1760-24-3 N-(3-(トリメチルシリル基)プロピル)エチレンジアミン

EC50	435mg / l (Klärschlamm: Atmungs-/Vermehrungshemmung)
IC50 / 72h	8.8mg / l (緑藻)(OECD 201)
EC50 / 48h	81mg / l (ミジンコ)
EC50 / 16h	67mg / l (シュードモナス・プチダ)
NOEC	3.1mg / kg (緑藻)(OECD 201) ≥1,000mg / kg (Eisenia fetida ( Regenwürmer)) (OECD 207)
NOEC / 21d	1mg / l (ミジンコ)
EC50 / 48h	87.4mg / l (ミジンコ)
EC50 / 72h	5mg / l (緑藻) 126mg / l (イカダモ)
LC50 / 96h	344mg / l (ゼブラフィッシュ) 597mg / l (ゼブラダニオ) 168mg / l (ファットヘッドミノー)

## 12-2 持続性及び分解性

関連情報はない。

## 12-3 生物蓄積性

関連情報はない。

## 12-4 土壌中の移動

関連情報はない。

・ 追加環境的情報：

・ 一般的な注意事項：

製品を地下水や水路に入らないようにすること。

魚やプランクトン等の水生生物に有毒。

水危険性クラス1 (ドイツ規制) (自己評価) : 水に対してやや危険

## 12-5 PBT および vPvB 評価の結果

・ PBT : 適応なし

・ vPvB : 1760-24-3 N-(3-(トリメチルシリル基)プロピル)エチレンジアミン

## 12-6 その他の悪影響

関連情報はない。

## 13 : 廃棄上の注意

## 13-1 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

・ 汚染容器及び包装

空容器類を破棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

## 14：輸送上の注意

## 14-1 国際規制

- ・ 海上規制情報  
適応なし

## 14-2 国連番号

- ・ シッピングネーム  
適応なし

## 14-3 容器等級

適応なし

## 14-4 海洋汚染物質

- ・ 国内規制

## 14-5 特別の安全対策

適応なし

## 15：適用法令

## 15-1 物質の安全性、健康及び環境に関する規制／法律

- ・ 消防法  
該当なし
- ・ 毒劇物取締法  
該当なし
- ・ 道路法  
該当なし
- ・ 船舶安全法  
該当なし
- ・ 航空法  
該当なし
- ・ 港則法  
該当なし
- ・ 下水道法  
該当なし
- ・ 大気汚染防止法  
該当なし
- ・ 水質汚濁防止法  
該当なし
- ・ 海洋汚染防止法  
該当なし



## 16：その他の情報

この情報は現在の知識に基づいています。ただし、これは商品の性質を保証するものではなく法的に有効な契約上の関係を確立するものではありません。

- ・ 関連フレーズ
  - H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
  - H318 重篤な眼の損傷
  - H332 吸入すると有害
  - H373 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ
- ・ 推奨使用制限
  - テクニカルデータシート（TDS）を参照する。
- ・ SDS 発行部門：
  - 研究室
- ・ 連絡先：
  - Dieter Zimmermann
- ・ 略語と頭字語：
 

ADR	欧州連合 (EU) に関する欧州合意 道路による危険物の運送
IMDG	危険物に関する国際海上コード
IATA	国際航空運送協会
GHS	化学品の危険有害性
EINECS	既存の商業化学物質の欧州インベントリ
ELINCS	通知された化学物質の欧州リスト
CAS	ケミカルアブストラクトサービス(アメリカ化学協会の部門)
DNEL	導出無毒性量 (REACH)
PNEC	予測無影響濃度 (REACH)
LC50	致死濃度 50%
LD50	致死量 50%
PBT	難分解性化学物質 (持続的な生物蓄積毒性)
vPvB	極難分解性有害物質
Acute Tox.4	急性毒性 カテゴリー 4
Skin lmit.2	皮膚腐食性/刺激 カテゴリー 2
Eye Dam.1	重大な眼刺激性/眼刺激性 カテゴリー 1
Skin Sens.1	皮膚感作性 カテゴリー 1
STOT RE 2	特定標的臓器毒性 (反復暴露) カテゴリー 2
- ・ \*前回のデータから変更されたデータ
  - REACH 1907/ 2006/EC 指令に従って適応